

大井町駅周辺地区 まちづくり構想 公開説明会

平成30年3月15日

大井町 きゅりあん

大井町駅周辺街づくり構想説明会を行った。

- ①まちづくり大井の活動実績
- ②首都圏の都市開発における大井町のポジショニング
- ③大井町駅周辺地区まちづくり計画案

会場は満席で区や地区の内外からおいでいただいた。

アンケートにも積極的にご回答いただきました。



神戸理事長の挨拶



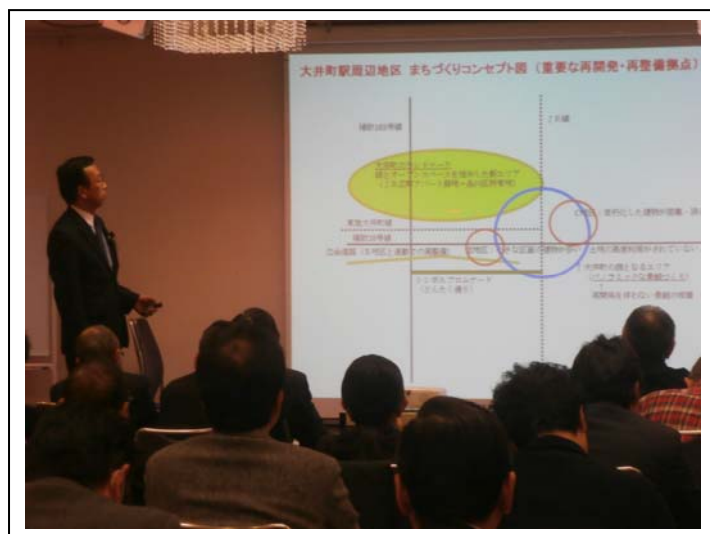
お忙しい中 浜野区長からご挨拶いただきました。



会場の様子



加藤事務局長の説明



コンセプトについて



広町エリアについて提案しました。



理事長より街づくり宣言を行いました。

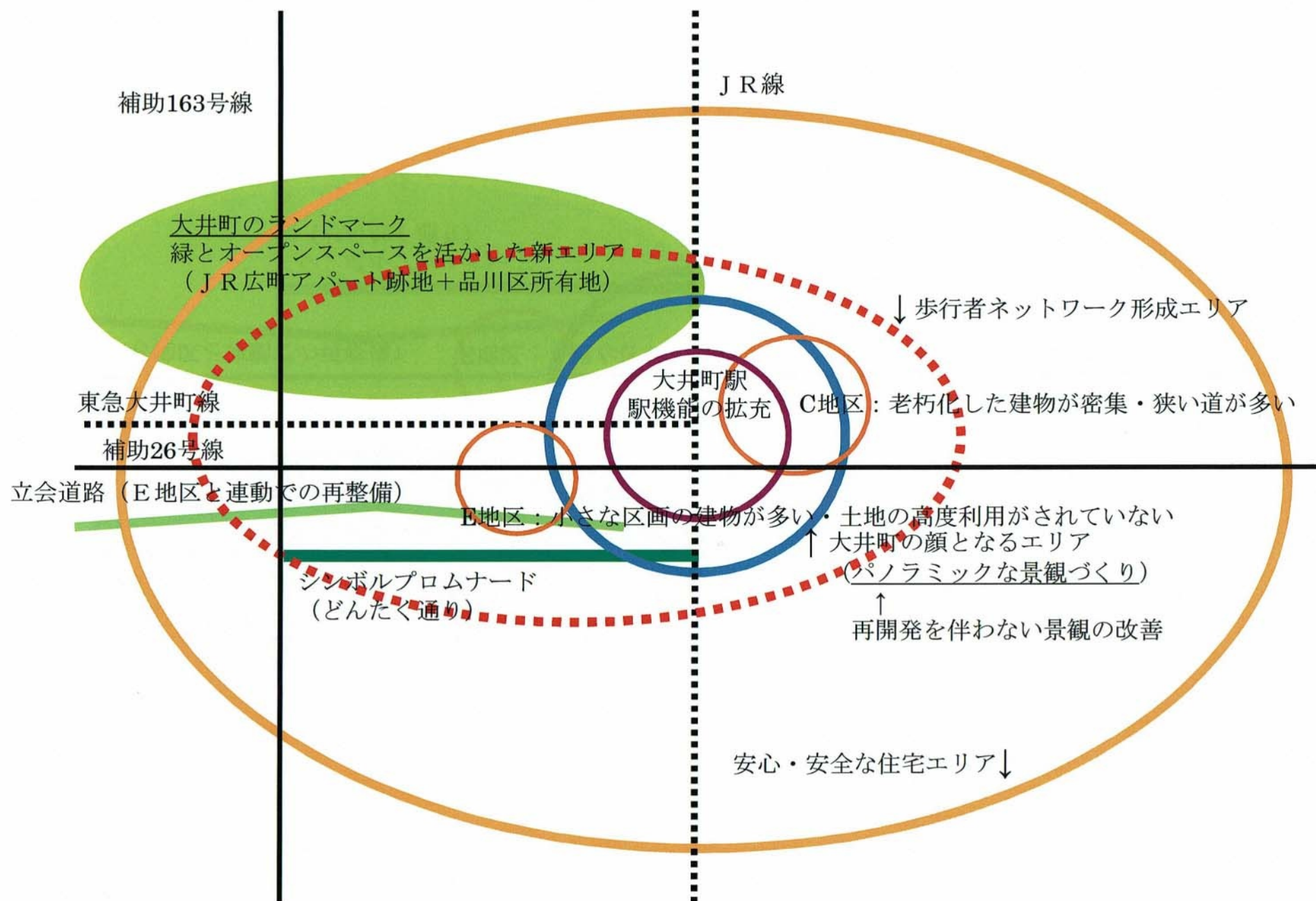


会場受付は商店街事務局の方々のご協力を得ました。
これからさらに具体化へ向けて取り組みます。

今、大きく変わろうとしています！

大井町駅周辺地区 まちづくり構想

大井町駅周辺地区 まちづくりコンセプト図（全体イメージ）





WebサイトのWeb siteより

広町界隈

区民が憩い集えるオープンなスペース。
 広大な緑(樹木・草花・芝生など)の多いコミュニティ公園。
 災害時対応施設・設備なども充実させる。
 現在の「広町地区」の移転や「しなむ中央公園」などの施設の調整など
 歩行者ネットワークや今後できる施設等の一体性を考える。
 今後望まれる施設は、文化・交流施設として図書館、美術館、博物館、
 芸術劇場などや集客施設としてのスポーツ交流施設のボールパークや
 国際試合も可能なサッカー・ラグビー場など。
 また、専門性の高い医療・福祉系のカレッジ、文化・芸術系のカレッジ、
 インターナショナルスクールなどの施設誘致も魅力的な要素。
 将来的な歩行者増加をにらみ、補助26号線側道路(東急大井町線側)との
 回遊性や大井町駅北口(仮称)側とのアクセスの整備が重要。

サンピア商店街界隈

大井町の東西のネットワークを担う西側の商店街。
 店舗群のクラ(北)側の振替整備も兼ねて、店舗を
 4m程度セッパバックし、東急大井町線の駅構内
 を生かした歩道などの歩行者空間の整備が重要。
 同時に補助26号線側面に自転車レーンの設置。
 また、駅近店舗の移転や移設に伴い広い部分
 (大井町西地区側)には公共性の高い自転車施設や
 正統保育園を設けるなど、大井町の西側の
 新しい顔を作る。

大井町駅(仮称:北口)界隈

段差の解消によるアクセスの整備など。また、車道
 は設けるのか等課題は多いが、今後の広町界隈の
 両側面に伴う歩行者の増加や新しい歩行者の東西
 ネットワークの拠点として駅舎等の改修(仮称:北口
 改札や広場等)が望まれる。
 広町界隈、サンピア商店街界隈や浅間通りを含む
 東小路・平和小路界隈、大井銀座商店街界隈との
 歩行者ネットワークの強化と地区の拡大化に対応。

東小路・平和小路界隈

防災上の課題克服のために、道路や区画の整理
 と整備が必要不可欠。特に避難道路にもなる
 通行量の多い浅間通りの拡張は優先課題である。
 界隈のイメージ戦略として安全・安心を担保し、
 特色のある飲食街を継承した新しい街の界隈性
 のある街の形成。
 また、低層部は商業の集積で中高層部は事務所
 商業や集合住宅で構成された複合ビルも部分的
 には考えられる。

大井銀座商店街界隈

大井町の東西のネットワークを担う東側の商店街。
 従来の店舗と新しい店舗の調性を深め、常に時代性
 のある商店街としてあり続ける。
 歩行者空間の拡張や歩きやすい歩道の整備、ベンチ
 やファニチャーなどのちょっとした休憩スペースが
 望まれる。

立会道路(立会川緑道)界隈

緑道内整備、歩道空間の再整備により心地よい
 歩行者空間を形成。(緑のネットワークの充実)
 現在の北側に設置されている自動二輪車の駐輪場を
 廃止し、緑道公園と一体化した新たな公園として
 北側のE地区と連続した空間づくり。
 緑道公園南側の歩道の廃止や新たなストリート
 ファニチャーや仕掛けを設置。また、下り流れる
 立会川を意図した仕掛けなども含めて再整備。
 南側の道路は歩道も含めての再整備にとどめる。

新地界隈

一部の店舗がメディアに取り上げられるように
 飲食店の新しい集積として認知が高まっている。
 駅からはE地区を隔てて立会道路(立会川緑道)
 界隈、サンピア商店街界隈から駅前中央通り
 界隈からのアクセスがある。
 度々はあるが歩行者ネットワークの拠点として
 日中は近くにある複合施設や立会道路界隈の地域
 であることも含め、考えたい。

二葉町地区

密度の高い低層住宅中心の地区。
 防災上の観点からも中層の建物の共有化を推進し、
 土地の高度利用により区画や道路の整備を図る。
 歩道分離やコミュニティ公園を配置し、安全安心
 で住みやすい街にする。

E地区

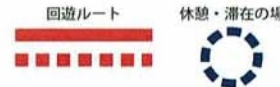
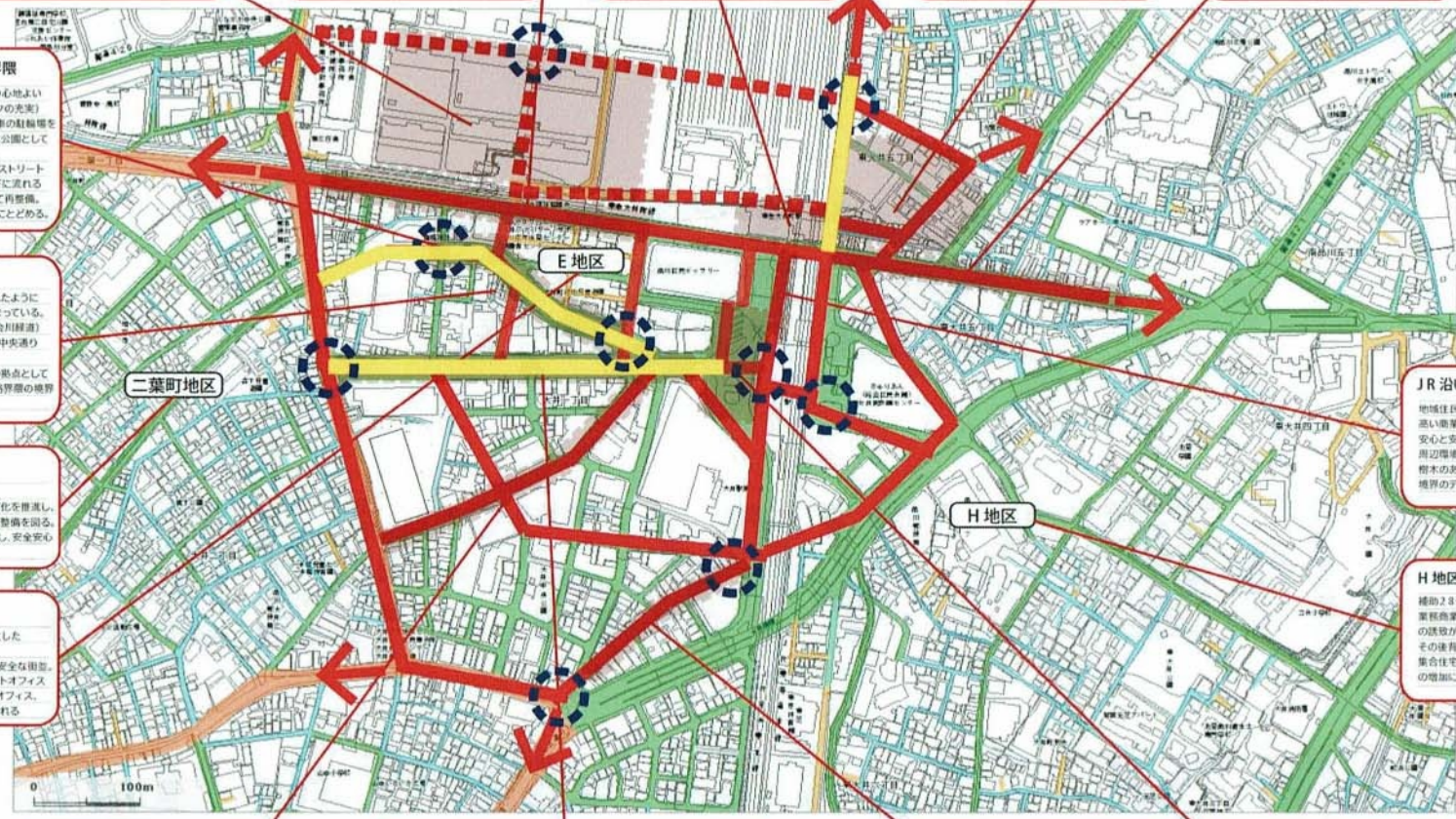
低層部は商業、中高層部は事務所商業を中心とした
 複合商業施設ビル群が望ましい。
 オフィス街としての集積として商業部のある安全な構造。
 大手企業や地方企業、自治体などのサテライトオフィス
 外国人対応可能なクリニックモール、シェアオフィス、
 ビジネスコンビニ等のテナント誘致が考えられる。

JR 沿い西側商店通り界隈

地域住民と利用者が考える利便性の
 高い商業施設の集積。
 安心と安全が確保された歩行者空間、
 周辺環境と調和した街並みを形成。
 樹木のある歩道と階段のある道路との
 境界のデザインの調整と調和。

H地区

補助23号線(池上通り)に接する区画には
 複合商業や駐車場を供えた大型商業施設
 の誘致が望ましい。
 そのほかの区画には中高層や高密度の
 集合住宅などの都市型住宅で若年人口層
 の増加に対応。



光交通り商店街界隈

品川区の将来構想である 道路幅員拡張(12m)に
 よって安全でゆとりある歩行者空間が創出できる。
 それに誘発されたオープンでカジュアルな商業施設
 が集積するストリート・エリアとしたい。
 こども達の通学路であることも重み重視安全完全
 の安全・安心な明るいストリートとする。

駅前中央通り(どんたく通り)界隈

シンボルプロムナードとして街を特徴付ける開港・景観の形成
 (祭り・イベント空間、低層部の賑わい施設誘導、緑化)
 歩道を部分的に拡張し、区画や歩行者の歩道のコミュニティ空間の創出。
 既存の歩道は歩行者専用車道(二車線道路)に変更、パーキングメーターは廃止。
 歩道部分と車道部分はフラットにし、取り外し可能なボード(車止め)を設置。
 既存歩道はそのまま残し、緑化等の歩行者空間に工夫を凝らす(ガラス)
 程度での緑化に変更または廃止する。
 コミュニティ空間には可動式ストリートファニチャー(ベンチ、パーゴラ、アート等)
 で「憩い」と「遊び」の演出。若者男女が滞在できる空間とし、商業店舗など
 歩行者の多い施設の誘導を図る。歩道、車道、緑化を安全なフラットにすることで、
 パリアフリー化や、短時間で集客の見込める 祭り、イベント等、多様な可能性が広がる。

三ツ又商店街界隈

歩行者ネットワークを担う西側の商店街。
 三ツ又地区に居るゆるやかな歩道を生かした
 歩行者優先の道路だが、路面に車道と歩道の区分
 を路面マーキングやペーパメントの素材等で
 フラットな区分を設け安全性を高める。
 駅前時刻表のある広場はできるだけ歩行者
 優先のデザインが求められ、歩行者ネットワークの
 拠点として再整備。三ツ又地区周辺の交通信号及び
 歩行者道路を整備することが望まれる。

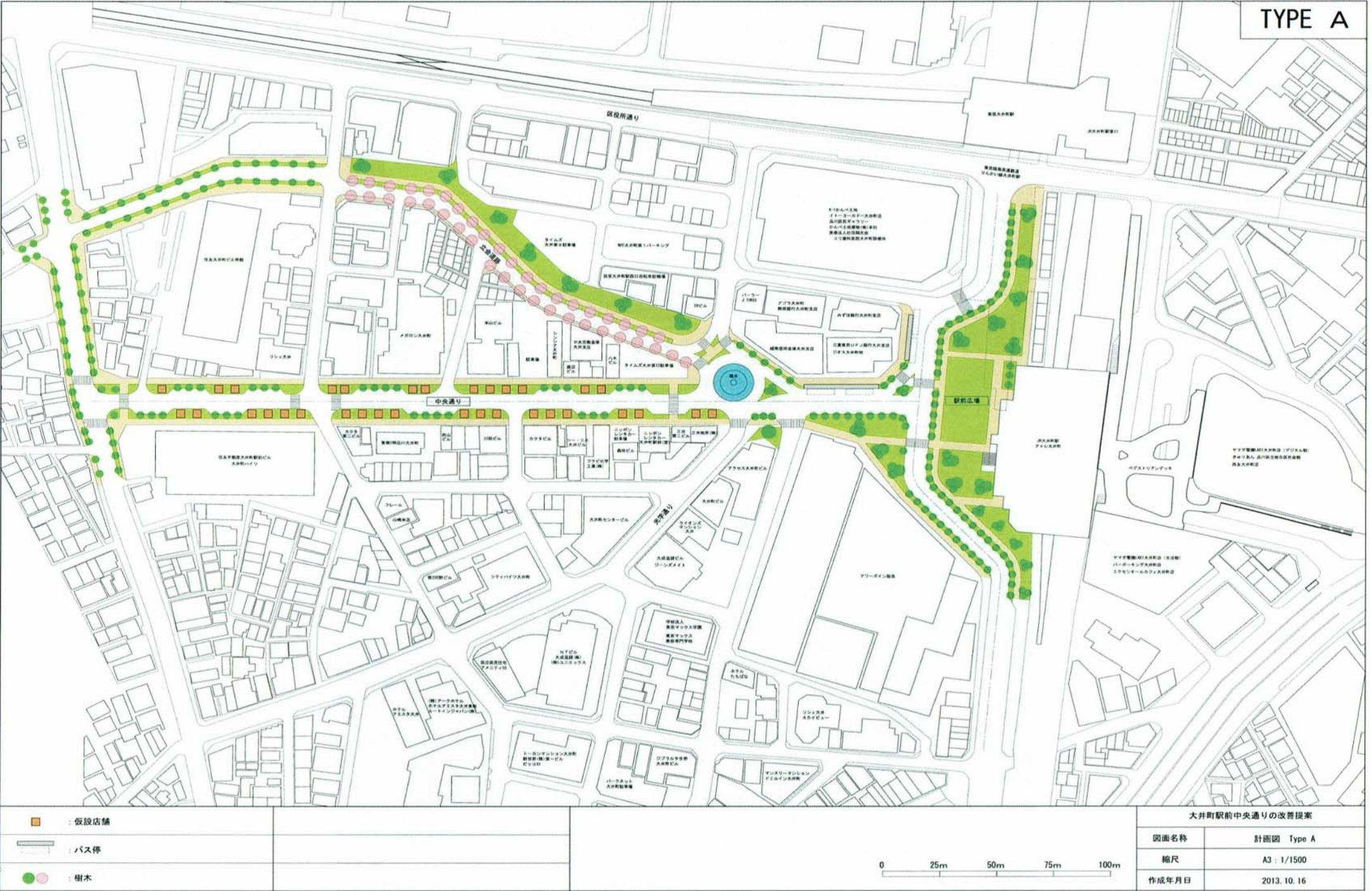
西口中央広場界隈

車両道路や(スターミナル)と歩行者道路を整理し、
 広場を拡大した区画の再整備。
 商業時はストリートファニチャーを設置し緑化が
 区画が憩い集まる歩行者空間と出会う
 コミュニティの広場。
 また、コンサートやスポーツイベント開催等にも
 対応できる設備とバックヤードを含めた場の構成。
 大井町駅周辺の歩行者ネットワークの核となる
 品格のある拠点づくり。

駅前広場イベントイメージ



《図面 大井町駅前中央通り・ロータリー・立会道路の変更案》



大井町駅前中央通りとストリート構成展開例

- ・ストリートファニチュア等はオプション(可動式)
- ・歩道は遮熱性ブロックタイル



期間限定一坪shop



木製の椅子テーブル



区立大井町緑地児童遊園 立会道路 OODIMACHI(ストリート)シンボル 公衆便所



→ 大井町駅西口広場

アクセス大井町

パーゴラ



遊びこころのある物



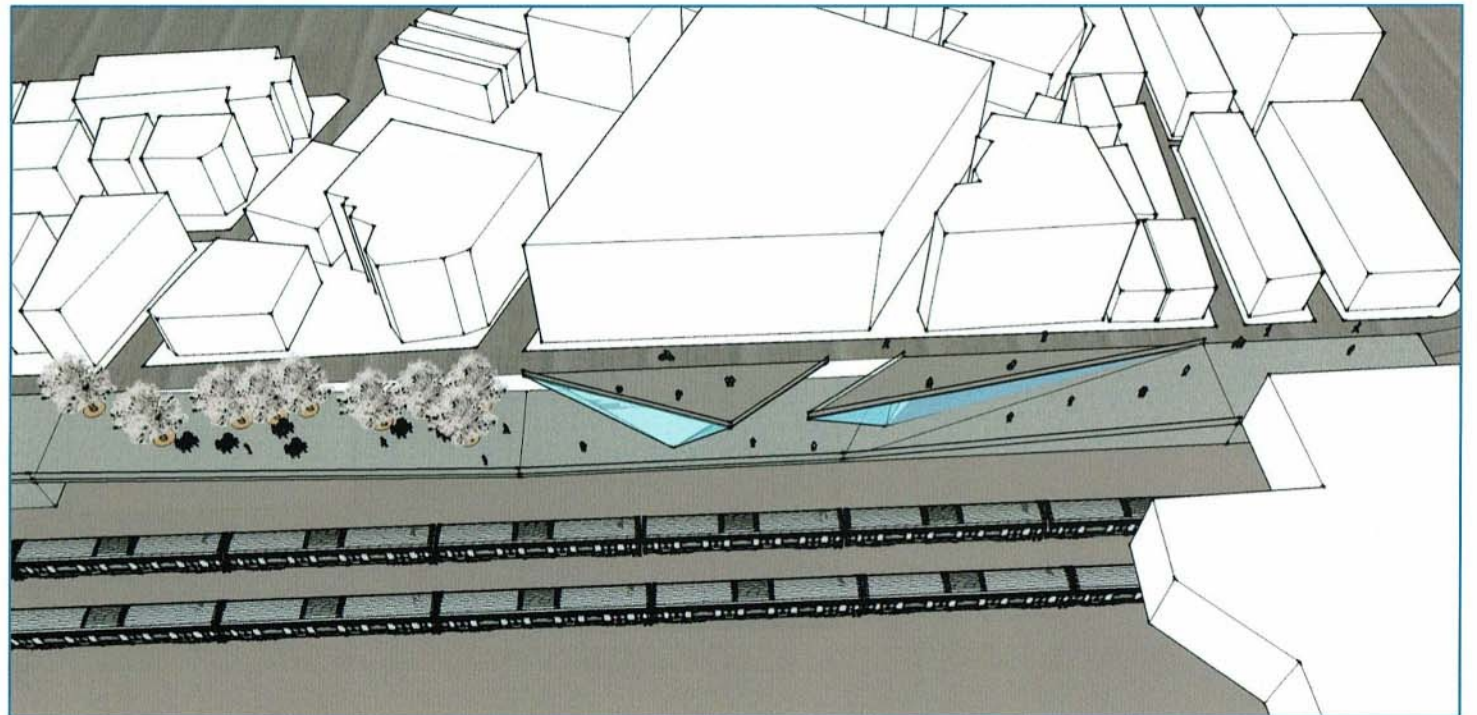
ベンチ・テーブル



ストリートマーケット



浅間台通り 狭あいさの改善案



大井町駅周辺地区 まちづくり構想 に関する5つの宣言

「大井町駅周辺地区まちづくり構想」に関する宣言

1. 駅前中央通りをシンボルプロムナード化し、居場所づくりを推進する。
2. まちを楽しんでもらえるよう、歩行者ネットワークや広々とした公園などを構築する。
3. 界隈性を創出することにより、様々な交流を促進する。
4. 再開発の推進に際しては、安心・安全を基本とし、文化・芸術なども楽しめるまちづくり実現を進めて頂くよう、地権者へ積極的な要請を行なう。
5. 駅機能の改善を進めて頂くよう、鉄道会社へ積極的な要請を行なう。